

ハイストクイズ

Q1

「北海道開拓の父」と呼ばれ、「札幌農学校」を作り、「Boys, be ambitious! (少年よ大志を抱け)」という名言でも知られる明治時代の教育者は誰でしょう？

Q2

石が大好きで鉱物の研究もしていたことから「石コ賢さん」と呼ばれ、「銀河鉄道の夜」や「注文の多い料理店」などの小説を書いた明治時代の作家は誰でしょう？

Q3

「世界三大美女」の一人として知られ、自身の歌が「小町集」にまとめられており、「花の色は移りにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに」という和歌が百人一首に載っている歌人は誰でしょう？

Q4

「会津若松城」に籠城した際、女性ながら「スペンサー銃」を使って戦った、明治時代の教育者は誰でしょう？

Q5

「江戸幕府初代将軍」であり、「関ヶ原の戦いの勝者」で、小さい頃は「今川家と織田家の人質」になっていた、戦国時代～江戸時代にかけての武士は誰でしょう？

Q6

「小手指ヶ原の戦い」「分倍河原の戦い」に参加した、「鎌倉落しの功労者」として知られる南北朝時代の武士は誰でしょう？

Q7

「壇ノ浦の戦い」で大活躍し、「九郎判官」という別名でも知られる、奇策で敵を圧倒した平安時代～鎌倉時代にかけての武士は誰でしょう？

Q8

「日本女子教育の母」と呼ばれ、「女子英学塾」（今の津田塾大学）を設立し、「日本婦人米国奨学金」などを通して女性教育と女性の地位向上に尽力した明治時代の教育者は誰でしょう？

Q9

「美人画への情熱」を持ち、「ビードロを吹く女」や「寛政三美人」を描いた江戸時代の芸術家（浮世絵師）は誰でしょう？

Q10

「東海道五十三次」が有名で、その青色が「ヒロシゲブルー」と呼ばれる。「ジャポニズム」の火種となったことで知られる江戸時代の浮世絵師は誰でしょう？

Q11

「走れメロス」や「人間失格」をなどの小説を書き「斜陽族」という言葉を流行らせた明治時代の作家は誰でしょう？

Q12

「義」を大事にし「軍神」とも呼ばれた、「春日山城」や「上杉笹」という家紋でも有名な戦国時代の武士は誰でしょう？

Q13

50歳を超えてからの「第二の人生」で日本全国を自分の足で歩き、「大日本沿海輿地全図」という史上初の正確な日本地図を作った江戸時代の測量家は誰でしょう？

Q14

「下剋上」の象徴の一人でもある、「小田原火牛の計」などの計略も使い「相模統一」を成し遂げた戦国時代の武士は誰でしょう？

Q15

「水戸黄門」として知られる、「快風丸」での蝦夷地探検や「大日本史」の編纂に携わった江戸時代の武士は誰でしょう？

Q16

「人取橋の戦い」などの戦いで知られ、「白装束」を身にまとったこともあった、「独眼竜」とも呼ばれる戦国時代の武士は誰でしょう？

Q17

「イエズス会」の創設に携わり、「イエズス会士日本通信」などにも関わったが、日本での布教の努力が実らなかった戦国時代の宣教師は誰でしょう？

Q18

「江戸のメディア王」として知られ、「黄表紙」や「狂歌本」などの多くの書物を出版した江戸時代の商人は誰でしょう？

Q19

「近代日本経済の父」として知られ、「一橋大学」の危機を何度も救い、「道徳経済合一説」を唱えた明治時代の商人は誰でしょう？

Q20

「黒船」で日本を訪れて日本に衝撃を与えて開国を迫り、「日米和親条約」を締結したアメリカ海軍の提督は誰でしょう？

Q21

「真言宗の祖」として知られ、「高野山金剛峯寺」や「綜芸種智院」を創設した平安時代の僧は誰でしょう？

Q22

「琉球統一」の功績で知られ、「首里城」を築いた琉球王国の国王は誰でしょう？

Q23

「最初の政党内閣」を組織し、「早稲田大学」の設立でも知られる、明治時代の政治家（外交官）は誰でしょう？

Q24

「枕草子」の執筆を通して当時の貴族の生活を今に伝承し、「紫式部」のライバルとしても知られる平安時代の作家は誰でしょう？

Q25

「最初の遣隋使」として「日出ずる処の天子」から始まる手紙を送ったが隋の皇帝「煬帝」から「怒りの返書」を受け取った飛鳥時代の政治家は誰でしょう？

Q26

「敬天愛人」という言葉を大事にした幕末の志士で、「第一次長州征伐」や「西南戦争」に関わった明治時代の政治家は誰でしょう？

Q27

土佐の漁師だったが、漂流した際にアメリカの「ジョン・ハウランド号」に助けられ、そのままアメリカに留学し、帰国してからは幕臣となり英語などの教育にも携わった江戸時代の教育者は誰でしょう？

Q28

「古池や蛙飛び込む水の音」という俳句が有名で「俳聖」とも呼ばれ、「おくのほそ道」や「野ざらし紀行」などの紀行文も著した江戸時代の俳人は誰でしょう？

Q29

世界最古の長編小説である「源氏物語」を執筆し、「清少納言」のライバルとしても知られる平安時代の作家は誰でしょう？

Q30

「激動」の時代である幕末期に「松下村塾」で幕末の志士たちを明治維新へ駆り立て、獄中で孟子について説き「講孟余話」を著した江戸時代の教育者は誰でしょう？

Q31

男が治めていた頃は荒れていた「邪馬台国」を鬼道（占い）で統治して鎮め、当時の中国である「魏」の国から「親魏倭王」の称号や「三角縁神獣鏡」をもらったと言われている弥生時代の女王は誰でしょう？

Q32

何度も失敗し失明してまで6回目の渡航で「決死の渡日」を果たして日本の僧に戒律を授けて「唐招提寺」を開き、その業績が「唐大和上東征伝」に残る奈良時代の僧は誰でしょう？

Q33

「近代日本医学の父」と呼ばれ、「破傷風菌」の研究から「血清療法」を考案し、「伝染病研究所」を設立した明治時代の医者は誰でしょう？

Q34

「米公方」と呼ばれ、庶民の意見を聞く「目安箱」の設置や大名に米を出させ幕府の財政難を立て直す「上米の制」の制定など「享保の改革」を行った江戸時代の将軍は誰でしょう？

Q35

「厩戸王」とも呼ばれ、「遣隋使派遣」で隋と対等に外交しようとし、身分ではなく能力で序列をつける「冠位十二階」や豪族らの行動指針である「十七条の憲法」を制定した飛鳥時代の皇族は誰でしょう？

Q36

「日本の夜明け」を目指して土佐藩を脱藩し、貿易会社「海援隊」の結成や「船中八策」という新国家体制への意見書を作ったと言われる江戸時代の武士は誰でしょう？

Q37

病床で歌を詠み、「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」という歌などが有名で、「瀬祭書屋俳話」や「歌よみに与ふる書」を書いた明治時代の俳人は誰でしょう？

Q38

猿と呼ばれて大出世を果たし天下を統一して、農民から刀を取り上げる「刀狩」や朝鮮への出兵である「文禄・慶長の役」を行い、関白、後に太閤となった戦国時代の武士は誰でしょう？

Q39

「学問のすすめ」の「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言へり。」という言葉で有名で、「慶應義塾大学」を設立した明治時代の教育者は誰でしょう？

Q40

尾張の出身で「大うつけ」と呼ばれ、「長篠の戦い」での「三段撃ち」戦法や「桶狭間の戦い」での勝利が有名な戦国時代の武士は誰でしょう？